

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 2013年12月12日

**【四半期会計期間】** 第17期第2四半期(自 2013年8月1日 至 2013年10月31日)

**【会社名】** クックパッド株式会社

**【英訳名】** COOKPAD Inc.

**【代表者の役職氏名】** 代表執行役 穂田 誉輝

**【本店の所在の場所】** 東京都港区白金台五丁目12番7号

**【電話番号】** 03-6408-6143

**【事務連絡者氏名】** 経営管理部長 武田 真理子

**【最寄りの連絡場所】** 東京都港区白金台五丁目12番7号

**【電話番号】** 03-6408-6143

**【事務連絡者氏名】** 経営管理部長 武田 真理子

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第16期 第2四半期 累計期間	第17期 第2四半期 連結累計期間	第16期
会計期間		自 2012年5月1日 至 2012年10月31日	自 2013年5月1日 至 2013年10月31日	自 2012年5月1日 至 2013年4月30日
売上高	(千円)	2,284,507	3,072,757	4,982,304
経常利益	(千円)	1,164,199	1,596,891	2,701,733
四半期(当期)純利益	(千円)	718,388	990,399	1,616,613
四半期包括利益又は包括利益	(千円)		990,399	
純資産額	(千円)	5,299,590	7,085,641	6,239,802
総資産額	(千円)	6,098,884	8,134,373	7,458,169
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)	21.97	30.05	49.38
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)	21.66	29.59	48.52
自己資本比率	(%)	86.5	86.8	83.2
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	736,793	794,695	1,847,394
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	1,630,164	375,504	1,683,019
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	46,644	135,627	9,275
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高	(千円)	3,029,457	5,203,719	4,167,841

回次		第16期 第2四半期 会計期間	第17期 第2四半期 連結会計期間
会計期間		自 2012年8月1日 至 2012年10月31日	自 2013年8月1日 至 2013年10月31日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	11.50	14.34

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成していますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。
2. 当社は当第2四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成していますので、第16期第2四半期連結累計期間、第16期第2四半期連結会計期間及び第16期連結会計年度に代えて、第16期第2四半期累計期間、第16期第2四半期会計期間及び第16期事業年度について記載しています。
3. 売上高には、消費税等は含まれていません。
4. 2013年5月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っています。そのため、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期(当期)純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額を算定しています。

## 2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが営む事業の内容について、重要な変更はありません。

なお、当第2四半期連結会計期間においてコーチ・ユナイテッド株式会社の株式を取得し子会社化したことに伴い、当第2四半期連結会計期間より同社を連結の範囲に含めています。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。  
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、本書提出日現在において当社が判断したものです。

なお、当社は、当第2四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期等との比較分析は行っていません。

#### (1) 業績の状況

##### 経営成績の概況

2014年4月期第2四半期連結累計期間（2013年5月1日～2013年10月31日）の業績は、

売上高	3,072百万円
営業利益	1,630百万円
経常利益	1,596百万円
四半期純利益	990百万円

となりました。

当第2四半期連結累計期間の業績に関する特記事項は以下のとおりです。

イ. 売上高は3,072百万円となりました。会員事業において、プレミアム会員数が順調に増加し、110万人を突破しました。また広告事業においては、ディスプレイ広告及びタイアップ広告が伸長しました。

ロ. 販売費及び一般管理費は人件費を中心に増加し、1,406百万円となりました。

ハ. 営業利益は1,630百万円となりました。なお、売上高営業利益率は53.1%となりました。

##### 運営サービスの状況

「クックパッド」ののべ月間利用者数は順調に推移し、2013年10月時点で3,959万人（前年同月比33.6%増）となりました。当サービスは日常の生活導線上で利用されているため、日常生活の多様なシーンでインターネットの利用が可能なスマートフォンとの相性が非常に良く、特にスマートフォンからの利用者が順調に増加し、2,184万人（前年同月比84.6%増）となりました。今後も多様化するデバイスに適応したサービスの展開に注力していきます。

またレシピ数も堅調に増加しており、2013年10月末には累計投稿レシピ数が157万品を超えました。

2013年6月に自社で実施したクックパッドの認知率調査では、20～40代女性におけるクックパッドの認知率は95.8%となりました（認知率調査は2013年6月実施。マクロミルモニターを利用したインターネットリサーチ、調査対象は全国の20～40代女性936名）。また、2013年10月の日経MJの調査によると、「女性の75%、特に30代女性に至っては87%が一度は利用している」という結果となっており、日本最大のレシピサイトとして不動の地位を確立しつつあります（調査は2013年9月実施。全国の16～80歳の男女1万348人へのインターネット調査）。

レシピの投稿・検索にとどまらず、食に関連するあらゆるシーンで利用される食のインフラへとサービスを進化させるべく、新規事業の立ち上げにも注力していきます。

#### 事業別の状況

当第2四半期連結累計期間の売上高を事業別に示すと、次のとおりです。

事業別	当第2四半期連結累計期間 (自 2013年5月1日 至 2013年10月31日)
会員事業(百万円)	1,833
広告事業(百万円)	1,235
その他(百万円)	3
合計(百万円)	3,072

#### （会員事業）

当第2四半期連結累計期間における会員事業の売上高は、1,833百万円となりました。スマートフォン利用者数の増加に牽引され、スマートフォンからのプレミアムサービス入会者数が順調に増加しており、2013年10月末のプレミアム会員数は110万人を超えました。

「運営サービスの状況」に記載したように、20～40代女性におけるクックパッドの認知率は高い一方で、クックパッドの有料サービス（プレミアムサービス）の認知率は51.8%に留まっています。プレミアムサービスのサービス内容充実をはかるとともに、その認知や価値訴求に一層注力していきます。

#### （広告事業）

当第2四半期連結累計期間における広告事業の売上高は、1,235百万円となりました。大型のディスプレイ広告の受注によって売上が堅調に増加しています。また、ディスプレイ広告と共にタイアップ広告を展開する案件が増加し、タイアップ広告の売上も増加しました。今後も引き続き、表現力の大きな広告パネルを活かし、広く商品認知を提供するリーチ型の広告商品に注力して事業を成長させていきます。

## (2) 財政状態の分析

### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、8,134百万円となりました。なお、流動資産は6,564百万円、固定資産は1,569百万円です。

### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、1,048百万円となりました。なお、流動負債は1,031百万円、固定負債は16百万円です。

### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、7,085百万円となりました。

## (3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は5,203百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりです。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により獲得した資金は、794百万円となりました。この主な要因は、税金等調整前四半期純利益1,606百万円を計上した一方で、法人税等の支払額768百万円が生じたことによるものです。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により獲得した資金は、375百万円となりました。この主な要因は、定期預金の払戻による収入1,500百万円が発生した一方で、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出971百万円が生じたことによるものです。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は、135百万円となりました。この主な要因は、配当による支払い164百万円が生じたことによるものです。

## (4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの対処すべき課題について重要な変更はありません。

## (5) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	110,592,000
計	110,592,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (2013年10月31日)	提出日現在 発行数(株) (2013年12月12日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	33,009,800	33,009,800	東京証券取引所 市場第一部	完全議決権株式であり、株主としての権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式です。 また、1単元の株式数は100株となっています。
計	33,009,800	33,009,800		

(注) 「提出日現在発行数」欄には、2013年12月1日から当四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれていません。

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2013年8月1日～ 2013年10月31日	89,000	33,009,800	12,678	863,718	12,678	863,143

(注) 新株予約権の行使による増加です。

(6) 【大株主の状況】

2013年10月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
佐野 陽光	東京都港区	15,527,600	47.04
穠田 誉輝	東京都港区	5,260,400	15.94
日本トラスティ・サービス信託 銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海1丁目8-11	1,339,400	4.06
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	東京都港区浜松町2丁目11-3	1,323,000	4.01
野村信託銀行株式会社(投信 口)	東京都千代田区大手町2丁目2-2	461,600	1.40
ゴールドマンサックスインター ナショナル (常任代理人 ゴールドマン・ サックス証券株式会社)	133 FLEET STREET LONDON EC4A 2BB, UK (東京都港区六本木6丁目10-1)	326,200	0.99
ジェーピー モルガン チェー ス バンク 380084 (常任代理人 株式会社みずほ 銀行決済営業部)	125 LONDON WALL, LONDON, EC2Y 5AJ, UNITED KINGDOM (東京都中央区月島4丁目16-13)	288,000	0.87
ステート ストリート バンク アンド トラストカンパ ニー 505041 (常任代理人 香港上海銀行東 京支店)	12 NICHOLAS LANE LONDON EC4N 7NB U.K. (東京都中央区日本橋3丁目11-1)	280,000	0.85
シー エム ビー エル, エ ス エー リ. ミューチャ ル ファンド (常任代理人 株式会社みずほ 銀行決済営業部)	WOOLGATE HOUSE, COLEMAN STREET LONDON EC2P 2HD, ENGLAND (東京都中央区月島4丁目16-13)	277,400	0.84
山岸 延好	神奈川県横浜市中区	259,800	0.79
計		25,343,400	76.78

(注) 上記の所有株式数のうち、信託業務に係る株式数は、次のとおりです。

日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,317,100株
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,258,400株
野村信託銀行株式会社(投信口)	461,600株



(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2013年10月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 1,200		
完全議決権株式(その他)	普通株式 32,999,700	329,997	権利内容に限定のない標準となる株式
単元未満株式	普通株式 8,900		
発行済株式総数	33,009,800		
総株主の議決権		329,997	

【自己株式等】

2013年10月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
クックパッド株式会社	東京都港区白金台5丁目 12-7	1,200		1,200	0.00
計		1,200		1,200	0.00

2 【役員状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は以下のとおりです。

執行役の状況

(1) 退任執行役

役名	職名	氏名	退任年月日
執行役	最高財務責任者	百鬼 弘	2013年10月25日

(2) 役職の異動

新役名及び職名	旧役名及び職名	氏名	異動年月日
取締役兼執行役 (最高業務執行責任者 兼最高財務責任者)	取締役兼執行役 (最高業務執行責任者)	石渡 進介	2013年10月25日

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(2007年内閣府令第64号)に基づいて作成しています。

なお、当社は当第2四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、比較情報は記載していません。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(2013年8月1日から2013年10月31日まで)及び第2四半期連結累計期間(2013年5月1日から2013年10月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けています。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間 (2013年10月31日)	
<b>資産の部</b>	
流動資産	
現金及び預金	5,203,719
受取手形及び売掛金	1,149,782
その他	213,918
貸倒引当金	2,781
流動資産合計	6,564,638
固定資産	
有形固定資産	32,979
無形固定資産	
のれん	992,915
その他	15,355
無形固定資産合計	1,008,271
投資その他の資産	
その他	569,164
投資損失引当金	40,680
投資その他の資産合計	528,484
固定資産合計	1,569,734
資産合計	8,134,373
<b>負債の部</b>	
流動負債	
買掛金	6,104
未払法人税等	573,402
その他	452,332
流動負債合計	1,031,840
固定負債	
長期借入金	16,892
固定負債合計	16,892
負債合計	1,048,732
<b>純資産の部</b>	
株主資本	
資本金	863,718
資本剰余金	863,143
利益剰余金	5,335,781
自己株式	1,185
株主資本合計	7,061,457
新株予約権	24,184
純資産合計	7,085,641
負債純資産合計	8,134,373

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】  
【四半期連結損益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自2013年5月1日 至2013年10月31日)
売上高	3,072,757
売上原価	35,558
売上総利益	3,037,199
販売費及び一般管理費	1,406,754
営業利益	1,630,444
営業外収益	
受取利息	4,746
その他	2,431
営業外収益合計	7,177
営業外費用	
投資損失引当金繰入額	40,680
その他	50
営業外費用合計	40,730
経常利益	1,596,891
特別利益	
新株予約権戻入益	13,248
特別利益合計	13,248
特別損失	
固定資産除売却損	461
関係会社株式評価損	2,688
特別損失合計	3,150
税金等調整前四半期純利益	1,606,989
法人税、住民税及び事業税	562,140
法人税等調整額	54,449
法人税等合計	616,589
少数株主損益調整前四半期純利益	990,399
四半期純利益	990,399

【四半期連結包括利益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間  
(自 2013年5月1日  
至 2013年10月31日)

少数株主損益調整前四半期純利益	990,399
四半期包括利益	990,399
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	990,399
少数株主に係る四半期包括利益	-

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間  
(自 2013年5月1日  
至 2013年10月31日)

<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	1,606,989
減価償却費	10,039
貸倒引当金の増減額(は減少)	196
投資損失引当金の増減額(は減少)	40,680
受取利息及び受取配当金	4,746
為替差損益(は益)	1,305
固定資産除売却損益(は益)	461
新株予約権戻入益	13,248
関係会社株式評価損	2,688
売上債権の増減額(は増加)	69,162
仕入債務の増減額(は減少)	3,176
その他の資産の増減額(は増加)	14,840
その他の負債の増減額(は減少)	36,738
小計	1,547,520
利息及び配当金の受取額	15,184
法人税等の支払額	768,009
営業活動によるキャッシュ・フロー	794,695
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
定期預金の払戻による収入	1,500,000
関係会社株式の取得による支出	143,407
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	971,806
その他	9,281
投資活動によるキャッシュ・フロー	375,504
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
株式の発行による収入	28,790
配当金の支払額	164,417
財務活動によるキャッシュ・フロー	135,627
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,305
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	1,035,877
現金及び現金同等物の期首残高	4,167,841
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,203,719

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当社は、当第2四半期連結会計期間においてコーチ・ユナイテッド株式会社の株式を取得し子会社化したことに伴い、当第2四半期連結会計期間より同社を連結の範囲に含めています。

なお、みなし取得日を当第2四半期連結会計期間末としているため、当第2四半期連結会計期間は貸借対照表のみを連結しています。

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりです。

	当第2四半期連結累計期間 (自 2013年5月1日 至 2013年10月31日)
給料手当	468,912千円
貸倒引当金繰入額	196

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりです。

	当第2四半期連結累計期間 (自 2013年5月1日 至 2013年10月31日)
現金及び預金勘定	5,203,719千円
現金及び現金同等物	5,203,719

(株主資本等関係)

当第2四半期連結累計期間(自 2013年5月1日 至 2013年10月31日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2013年6月7日 取締役会	普通株式	164,417	10.00	2013年4月30日	2013年7月26日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自 2013年5月1日 至 2013年10月31日)

当社グループは単一の報告セグメントであるため、記載を省略しています。

(企業結合等関係)

取得による企業結合

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及び事業の内容

被取得企業の名称      コーチ・ユナイテッド株式会社  
事業の内容                  音楽教室・語学教室・学習塾等の経営及びこれに関するノウハウの販売・経営指導等

(2) 企業結合を行った主な理由

同社が運営する「プライベートコーチの Cyta.jp (咲いた.jp)」は、語学・楽器・デザイン・スポーツ・資格取得など、約140種類のジャンルのレッスンのプライベートコーチ(個人指導の先生)が見つかるサイトです。今後はスマートフォン普及に合わせて、レッスンの検索・予約にとどまらず、ベビーシッターやハウスキーピングなどの幅広い地域サービスを取り扱う「サービスEC」へと発展していくことを目指しています。

今回の完全子会社化により、クックパッドの利用者の中心である既婚女性向けの生活領域でのサービスの提供が可能になります。また、運営ノウハウの共有や、特にスマートフォン分野でのより多くの利用者へのアプローチにより、利用者増加を推進していきます。

(3) 企業結合日

2013年10月1日

(4) 企業結合の法的形式

株式の取得

(5) 結合後企業の名称

変更はありません。

(6) 取得した議決権比率

100.0%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価とした株式取得により、被取得企業の議決権の100.0%を取得したためです。

2. 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

みなし取得日を当第2四半期連結会計期間末としているため、当第2四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書には、被取得企業の業績は含まれていません。

3. 被取得企業の取得原価及びその内訳

取得の対価	現金	1,000,000千円
取得原価		1,000,000千円

4. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

(1) 発生したのれん

992,915千円

(2) 発生原因

今後の事業展開により期待される将来の超過収益力です。

(3) 償却方法及び償却期間

5年間にわたる均等償却



(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりです。

	当第 2 四半期連結累計期間 (自 2013年 5 月 1 日 至 2013年10月31日)
(1) 1 株当たり四半期純利益金額	30円05銭
(算定上の基礎)	
四半期純利益金額(千円)	990,399
普通株主に帰属しない金額(千円)	
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	990,399
普通株式の期中平均株式数(株)	32,950,162
(2) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額	29円59銭
(算定上の基礎)	
四半期純利益調整額(千円)	
普通株式増加数(株)	512,118
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	

2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

2013年12月12日

クックパッド株式会社  
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 山本 守 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 坂井 知倫 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているクックパッド株式会社の2013年5月1日から2014年4月30日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（2013年8月1日から2013年10月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（2013年5月1日から2013年10月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、クックパッド株式会社及び連結子会社の2013年10月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。